京城新聞

●殖民地の貿易策（三）

法學士　山内正瞭

二、移入貿易

三十二年關税改正以來、其の從來香港を經て再輸入せられたる内地商品が多く直接に移入せらるゝに至りたるは勿論、從來苟しくも内地商品に對し類似の地位ありたる外國商品も、亦漸く其の影を潜むるに至れること前に述べたる如くなるが、其の從來香港を經て再輸入せられたる商品といふは錫、海産物、洋傘、燐寸等主もなるものにして内地品の爲め驅逐されたる外國品は、金物、紙、烟草、麥酒等なり、斯くの如き現象を生ずるに至りたると同時に同島人民の購買力も亦著しく增進したるより、彼是從つて同島の移入貿易は一層發展するに至りたるなり、就中、麥粉乾魚、鹹魚、石油、木材、板等に於て甚だしきを見る、

三、無制限政策

無制限政策とは、本國が其の殖民地の貿易をして内地に依賴せしむることなく、之れを自然に放任するをいふ、元來、商業は分業の法則に基づき、自己生產の貨物と、他人生產の貨物を交換するを以つて其の目的となすものなれば、外國貿易に就ても、亦此の理を推及し、殖民地の貨物の如き宜しく之れを有利の方面に注ぎ、又其の需要も汎く世界に俟つべきものなりとは、是れ放任主義を採るものゝ主張するところにして殖民地が其の本國より貨物を購ふよりも外國より購ふを便利とする場合、若しくは自己生產の貨物を其の本國に向つて販賣するよりも、外國に向つて販賣するを便利とする場合にありて、内地本位政策の缺點は遺憾なく發露せらるゝものとなし、且つ無制限政策より生ずべき利益に就て述べて曰く「無制限政策より生ずる利益は、彼の私人間に於ける交換のそれと毫も異なるところなし、私人間に於ける交換の利益は自己の生產品と他人の生產物とを交換するに、其の間唯貨幣を介する外敢へて特定人を限るの條件を要せざるが爲め、結果賣買相互に便利を與ふることゝなるにあり」と、斯くの如く、無制限政策にも一理なきにあらずと雖も、今若し此の政策に據ることゝせば、殖民地とは唯名目上の呼稱に過ぎざることゝなり、本國は其の殖民地に對して本國たるの故を以て其の殖民地より何等特別の利益を受くるを得ざるのみならず、殖民地にありても、亦其の本國より或る保護を與へられざるが故、茲に一事業を起す如き場合に當りても、外國に比し極めて優越せる條件を保有するにあらざれば、兎く其の競爭に堪へ能はざるべく、斯くて結局容易に殖民地に事業は起らざることゝなるなり殊に、此の政策より生ずる甚だしき弊害は殖民地が其の輸出入貿易上常に外國市場の影響を免がれ能はざることとす、

寄書　漫言

渡邊不言

人は祈禱の動物なり司馬遷屈原傳に曰く天は人の始なり父母は人の本なり人窮すれば本に反る勞苦倦極未だ嘗つて天を呼ばずんばあらず疾病慘怛未だ嘗つて父母を呼ばずんばあらずと夫れ然り人は元來元氣旺盛の時のみならず時としては元氣消沈悲嘆不遇の時なくんばあらず、世は順境の時のみならず時としては逆境に陷るの時なくんばあらず其逆境不遇の時果して泰然自若天命に安じて伎らず求らず旻天父母を呼ばざるもの幾人かある只だ夫れ聖賢か

孔子は東亞の聖人なり嘗つて疾病あり子路禱らんと請ふ孔子曰く禱れ有りや子路曰く之れ有り誄に曰く爾を上下の神祇に禱ると子曰く丘の禱ること久しと菅公は我國の文神なり曰く心だにまことの道にかなひなば祈らずとても神や守らむと東西の聖賢國を隔つる數千里世を經ること數百年而して其心事の同一なること符節を合するが如し

己れに足て人に求むることなければ何ぞ祈禱を要せんや黽勉力行誠を竭して而かも人に疑はるゝは疑はるゝものゝ罪にあらずして疑ふものゝ罪なり又た何をか咎めん何をか怨みん弱點より基督教徒が一も二も祈禱をのみなすを見ては愚見たるのみ迷信たるのみ

勿れ基督教の本義を解せずして妄評をなすことを基督教徒が祈禱をなすは迷信にもせよ聖なる神に祈らんとするの心生ずるは既に聖きものに從はんとするの素地を作れるなり此心こそは孔子が罪を天に得れば祈る所なしと云ひし心なれ菅公が天拜山に於て立願せられたる心なれ尚は佛徒が南無と云ふも此祈願なれ

一人孝を竭して一鄕孝に化し一人仁に志して一國仁を歸す天地間一切の萬物は皆我と絶緣のものにあらず事々無礙法界の玄義我を欺かざるなり佛曰く十界相互の加持又曰く三密相應の加持と此玄義を大觀して初めて祈禱の眞意義を解すべきなり

野蠻國の人は祈禱をなすこと最も多き動物なり由來韓國は孔孟の道あるにも關せず祈禱の盛に行はるゝの國なり巫女の盛に行はるゝの國なり此弊風を打破せずんば遂に韓國は祈禱を以て衰亡に終らんのみ噫祈禱をなすの敎家よ宜しく注意三省して可ならんか

俳句

○吟光小會集

秋の水淙々として野を走る　南六
雨班の離亭に千鳥聽く夜かな　同
讀書堂千鳥聽く夜となりに鳧　同
鳥啼く冬の木立や二日月　同
大沼に降る小沼や冬木立　同
澄む鐘は寒山寺かな秋の水　飛天子
川千鳥葦に夜釣の焚火かな　同
た小夜とは啞の海女也濱千鳥　同
漁船に女かくまふや小夜千鳥　同
冬木立町の線切り覗かな　同
寒山は番伯の名なり冬木立　同

短篇小說　片思

孤星

「オー フランクもう直ぐに御客が見ゆるから其積りで急いでコックを仕てゝ呉れ」主婦の言葉にフランク沖田は「チェッてゝの家の樣に御客の多い家はありやあしないほんとに嫌になつてしまアー」と呟やきながらストーブの火を焚き初めた

「どう考へて見ても内のウエートレッスのメリーは實に美術だ、彼女の樣な美人は未だ初めてだ目元と云ひ、口元と云ひ、實に花顔だ殊にあの窈窕たる容姿は牡丹と云はふか藤葉と云はふか實に形容の出來ない程だ、ほんとにゾッとするよ……だが奴め少し美いと云ふ方か知して、いやに高慢ぶた所で小言が關の山だ、アヽ癪だ……いや併し其小言が己れの耳へは美聲妙音に聽へる、あの睨みつけた時の眼は寧ろ秋波を遺るかのやうに見ゆる、實に天の成せる麗質だ、而かも其れが終日目の前で散らつくのだから堪らない、巳りやア此の樣な家に働きたくはないいやこれ迄にモウ出ようかと思ふた事が幾度あるか知れやしないが斯樣して今迄で辛抱してゐるのも、いはば奴が居ればこそだ、實に酷な奴だ併し奴も石や木じやあなし、叩けば痛み、掻けば氣持の好い位ひの事は覺つてるマア斯うして働いて居る内に時の日和とやらで萬一……なきにしも非ずだ、岡惚れも三年經てば情夫とやらかね フッフッハ……」頻りに獨り言ちつゝ、さも嬉しげに微笑して料理して居る例のメリーは目を怒らして

「フランクー、お前の今日の料理は何んと言ふ仕方だ、アノローストなんかは眞黑に成つて居るじやないか、今晩の樣に客のある日にわ少しは氣を附けるがゐい」

「フップッフ妙音々々實に美聲だあの色眼涼しい事」

ボンボンボン時計は今十時を報じた、客も過半は歸つたらしい、料理の方は余程隙になつたのでフランク沖田は先づ一ぷくやらんと、ダウンセーラーへ降りて古びたテーブルに頰杖をついて首垂れた、

「どうも美い女だ、奴も何れ男を持つであらうか、奴の男になつた奴は余程の果方者だ、アヽ己れの思ひの萬分の一を夢になど知らせて、やりたいなア」

うつら〳〵として空想を其胸に畫きつゝありしが徐々と階段を降りて來る音がする不斗振り向いて見ると早や其時は自分の背後に妖婉花の如き美人が立つて居た」

「オヤお前はメリーさんでないか」

問へど答へず、其花顔に萬斛の愛を滿へて莞爾としてフランクの顏を一心に見詰めて居たがヤ、あつて、

「オー フランクお前はさぞ御疲勞でしやう妾しは是れ迄無情にも小言ばかりを云ふていたが考へて見れば實に惡かつた、どうぞ勘忍して頂戴よ、決して惡く思つて御呉れでないよ、もう今からお前を兄の樣に思ふて、ラブを與へるからお前も妾しにラブを與へて頂戴……チッ、フランク」

芬々たる香を臆かせながら溫かき頰をフランクの顏に當て而して溫きキッスを與へた

「だからねへ、フランク次のサンデーにはパークへ連れて行つてお呉れよ、屹度だよ而して今のラブの事わ決して〳〵、忘れてはいけないよ」

又たも溫きキッスを與へんとする刹那轟然一聲皿を毀した音がガチャ〳〵〳〵〳〵

「アッ夢か、アヽ此の夢を奴に見せてやりたいなア……」呆然として眠た相な眼を擦ち上らんとするや、メリーは蹴立たましく階段を下りて非常な怒氣を含んで

「オヤマア、フランク先きから呼んで居るのにわからないか、疲勞れるのは誰も同じ事だ、お客はモウ先刻に歸つて仕舞つたんだよほんとに、どうすればそう間拔だろー」と言ひ捨てゝ左も邪見らしく楷上に昇つた

「フッフッフッ今晩は余程糸に燃を掛けたらしい、アー妙音々々實に美聲だ……」

万事を片付けて、自分の室に歸つて時計を見れば指針は十一時二十分過ぎを示して居る

「糞ッ……いまいましい、如何に妙音美聲も彼樣度々聽かされては面白くもねへ、まゝよ今から何處かへ行つて腹癒せに一杯やつてこよう」

エプロンをはづして、上衣を引つかけ下町邊へと出掛けた

・・・・・・

「オイ姐さん、なんでも好いから一本附けて呉れ、肴はなんでもいゝよ、お前の見斗ひであつさりした物を、何ッ……御酒か勿論日本酒さ」

暫くして『サア上燗ですよ、一ッ御酌』三三杯引つかけて

「じやア姐さんニモ、一ッ献らう、れや此の肴はなんだ、いやにかたいじやないか、何に、あわび」

「あわびですよ、磯の鮑で片思ひですよ」

「ナニッあの磯の鮑の片思……ゴッテム、フールミー」

妖雲月を蔽ひ四邊暗澹として人聲なく、唯聞ゆるは、カーの音轟々

京城新聞

韓國の起債に就て

日本興業銀行が韓國政府に貳千万圓の貸金をなす事に就ては屢々聞きし所なるが頃者倫敦巴里のシンヂケートとの交渉纏り首尾能く成立したりとの報あり、余輩は帝國政府が保證して韓國に貸金することを非議するものに非ず寧ろ夙に此計畫なかる可らざるを思ふものなり何となれば韓國の開發は帝國の力に依らざれば之を遂行する能はざればなり韓半島前途の進境は帝國の双肩に荷ふべき責任を有するなり然らば之が開發を爲すに何を以て最大急務となすや政治法律の改良も其一手段なれども何事をなすにも先立つものは之を經營するの資金なりとす殊に韓國の如き國家疲弊して財力欠乏せる邦國にありては資金の調達こそ第一の問題なり而して韓國にては興すべき業多く拓く可きの地少なからず河川の修理港灣の改築鐵道の敷設殖林事業等幾多經營すべきものありて之を經營すれば優に殷富なる邦國たるを得べきも財力の乏しき爲に之等急要の經營に着手する能はざるなり帝國の現狀は財政整理の時代なれども韓國の現狀は百事起興の初頭にして資金を注入するの時代なり徒に姑息的經濟に依りて苟安的の施設に甘んず可らず宜しく經營の大方針を立て以て將來の殷盛を計るの途に出ずるの必要あり其經營の方針に就ては獨立當時に於ける合衆國若しくは獨逸が近時殖民地に施設せるが如き極て放膽なる大計畫をなさゞる可らず其邦國にして興すべきの業なく拓く可きの地なければ止むを得ざるも半島の如き資金さへ投すれば豊富なる幾多の財源ある邦國に於ては多額の外債を起すも之が爲に破産する憂なく否斯くしてこそ始て茲に殷富なる邦國を造出することを得べきなり外債と云へば一も二もなく恐懼するが如き小膽なる政治家にては到底現代の大規模なる經營はなし得られざるなり、之より推して今回の貸金に就て余輩は奇異なる感を抱かざるを得ず僅々貳千万圓の資を供して何事をなさんとするや京元鐵道及北韓鐵道の如き港灣築港の急を要するものに加へて農事改良の基たる河川の修理殖林經營の如き一日も等閑に付す可らず之等の事を少しく永遠的に創設せんとすれば貳千萬圓や五千万圓にて足るべきものに非ず之に着手すると同時に缺乏を告げ更に亦貸金をなさゞる可らず何ぞ眼前の事のみに焦慮するや一時偸安的の經濟は大財政家の最も忌むべき事なり帝國の如きも維新當時に於ては幾多此苦き經驗を嘗めたるに非ずや之を知りつゝ更に韓半島に繰返さんとする乎余輩は我當局者は今少し大膽に堅實なる開發方針を取らんことを望まざるを得ず殖産經營に投ずる資金には多額の外債を起すも決して危險なるものに非ず帝國は斯國を保護すると共に此邦土の開發にも充分の力を副へざる可らず資金の供給は勞ひ之に附帯せざるを得ず大に外債を起さしめて大規模の經營をなさしむべし畢竟之れ帝國前途の利益なればなり敢て當局者の一顧を要請せざるを得す

伯林電報

▲風雲益々急なり

トルコブルガリヤ間の協商困難となり兩國は戰備をなしつゝあり

▲駐清軍撤回

獨佛兩國は明春を以て清國駐屯軍を撤回し單に海軍の分遣隊を以て之に代ゆべし

東京電報

▲功勞者と御裁可

四十年四十一年韓國暴徒鎭壓事件に從事し功勞あるもの(明治二十八年勅令百十五號準用の件裁可公布せらる

▲皇室皇族の引受株

皇室引受けの拓殖株は五千株皇族引受けの同株も五千株兩本願寺は共に一萬株宛なり

▲拓殖株割當

拓殖株は本月末迄に割り當てを行ひ拂込みの通知を發すべし

▲興業銀行と韓國

韓國に貸し付くべき日本興業銀行の外債は利率五朱發行價格九十八磅手數料三磅手取り九十五磅にして据へ置十ケ年償還期間三十ケ年とす

▲李容九招かる

當地新聞記者は李容九を招き懇話會を開けり(以上十日發)

雜報

●漁業法の發布

韓國漁業法は明日の官報を以て發布せらるゝ筈にして內容は既報の如く日韓兩國民に適用せられ從來の日韓通漁條約を廢して別に協定をなし共に公布せらるゝ筈

●拓殖株應募狀況

一昨九日迄の東洋拓殖株式會社株式申込は韓人三千三百二十三株(百二十五人)日本人四千九百三十六株(百五十一人)合計八千二百五十九株(二百七十六人)なり因みに日本に於ける應募は八日迄に同會社創立事務所へ報告ありたるもの四萬五千百六株なりと

●東洋拓殖本社

東洋拓殖會社成立の上は本社を韓國京城に移し東京には株式に關する事務を取扱ふため支社を設置し重役一名支社にありて監督することゝなるべしといふ

●東洋拓殖成立期

東洋拓殖株式募集の締切は昨十日にして今十一日より株式割當に關する調査に着手し若し調査上遺すことなき以正確なる按分比例によりてこれを確定する筈なるもこが爲めに委員總會を開かず常務委員會に於て決定する方針なりと而して當局者の見込にては是等のことを決定するため約一週間を要すべきにより募入株式の確定するは十八日頃なるべしそれより第一回拂込を通知し其拂込結了して此に始めて會社の設立を告ぐる次第なれば同會社の全く成立するは十二月初旬なるべしと云ふ

●東京拓殖應募數

東洋拓殖會社募株の狀況は東京創立事務所に於ける七日中の應募額は一萬二千〇九十株累計四萬五千百〇六株なり

●韓太子ご大演習

韓皇太子殿下は大演習御見學並に觀艦式陪觀の思召あるも大演習の方は未だ十分馬術に達せられざれば如何と御遠慮申上るものありて詮議中なり

●曾禰副統監の微恙

曾禰副統監は微恙ありて一兩日引籠り療養中なり

●露國總領事

新任露領事アレキサンドル、ソモツフ氏は十一月三日より就任せられたる旨公然の報知ありたり

●米國書記官來城

東京米國大使館一等書記官ビーエージエー氏は十六日京城着米國總領事館に數日間滯在の筈なり

●朴泳孝濟州島に歸る

木浦に在りて病氣療養中なりし朴泳孝は全快に向ひたるを以て昨九日濟州島に歸りたる旨或筋に電報ありたり

●韓武官の訃

侍從武官陸軍參領南基昌氏は十一月十日午前七時三十分死去せり

●於音の無效に就き

古來韓國に於ける唯一の流通證券たりし於音票は光武十年十一月勅令第七十一號を以て手形法の發布と共に其の流通法に禁止せられたるは普く人の知る所にして當局者に於ても極力於音票の掃蕩に意を用ひ手形の流通を計れるに拘らず法の觀念に乏しき當國人は今尚目前此の危險の伏在するを知らずして之が授受を絕たざるは當に當國經濟界の發達を阻害すること大なるのみならず一朝不渡に逢遇せんか忽ち取引上に恐慌を來し其の損害は少なからざるべし即ち手形令第三十五條を見るに當に左の如く規定せらる

第三十五條 本令に定めたる手形以外に於音文票に類似せるものゝ發行授受をなすことを得ず但し本令施行以前に發行したるものは質物を以て其の債務を完濟するか或は本令に據る手形を以て之を更正することを得

故に於音の發行授受をなすも明かに無效にして法は何等の保護をも與へざるなり而して之が禁止の精神の存する所は於音なるものは其の形式不完全にして信用證券として不適當にして其の結果は往々恐慌を來すを以て之を救濟せんとするの意に出でたるものと云ふべし既に於音は無效なるを以て現在に於ける發行者にして其の債務の履行を繼續するに於いては何等の救濟手段を講ずるを得ず假令之を法廷に訴ふるも敗訴に歸すること明かなり現に之が實例としては平壤地方裁判所に於ける最近の判決ありて其の危險なること累卵も啻ならずと云ふべし此の如く於音は價値なきものなるを以て所持人たるもの此の際非常の警戒を要すると共に法の保護最も確實なる新手形を利用することに努め日常取引を安全ならしむは自他の利益なりと當局者は語り居れり

●稅關長會議

豫報の如く昨九日より關稅局に於て稅關長會議を開きしが當日は山岡釜山宮本仁川野手元山の各稅關長出席午前十一時開會先づ永濱關稅總長の演述あり終りて議事に移り午後四時散會せるが有賀鎭南浦稅關長は病氣の爲め一日を後れ昨夜着京せりと云ふ

永濱關稅總長の演述左の如し

諸君本務多端の折柄遠來の勞を謝す由來當國に於ては諸君が遵據せらるべき關稅法規の不完全なるに拘はらず克く過渡時代の事情に適應し相當機宜の處置に依りて次第に其職務を舉け穩健なる貿易の發展と同時に關稅の收入も亦豫期以上の好成蹟を見むとするは本官の滿足する所なり

本年の外國貿易は去月末に於て商品の輸出入額四千四百萬圓金銀の流出入額六百九十五萬圓にして之を前年同期に比較するに金銀に於て百三十九萬五千余圓を增加したるも商品貿易に於て二百十九萬圓を減少したれば外國貿易の狀況は昨年に比し一見頗る不振なるか如しと雖とも之を仔細に觀察するに本年度貨物の輸出入額中には統計制度改正に依り軍需品の輸入を控除したるのみならず本邦の特產物たる人參は本年度に於ては未た輸出せらるゝに至らざるを以て是等輸出入を計算する時は外國貿易の趨勢は決して統計に顯はれたる如く減退したるものと云ふへからず況んや當國諸種の事情に基づく一般經濟界の不況並に外國貿易上尤も關係深き日本國に於ける商況不振等の事情を參酌するときは當國現下の外國貿易は漸次穩健なる發達を爲しつゝあるは疑ふへからさる所なり殊に當國に於ける資金關係の輸出入は日本其他多くの國に於ける場合の如く必ずしも貨物の輸出入に伴ふ代金仕拂の決濟に基づくものにあらずして貿易上寧ろ一般貨物輸出入と異ならさる事情を有するか故に當國外國貿易の消長を論せんには宜しく是等を併算對照するを以て至當とすべく果して然らば本年度に於ける外國貿易の狀況は毫も其の悲觀するに足らさるを見るへきなり(未完)

●都督府工業學校

關東都督府にては後藤遞相が都督府顧問時代よりの宿望たりし旅順に高等工業學校を設置することに決し今回百二十萬圓(四ヶ年繼續)の豫算にて明年度より設備に着手することゝなれり同校校舍は露國海兵團を以て之にあて生徒募集をなすは明後年六月なるべく教授課目は機械科、電氣科、土木科、採礦冶金科の四科にして生徒は將來一千人を收容する計畫なるが初年は二百五十人を內地各府縣に亘りて募集し清國委托留學生の入學をも許す由

●第五十一聯隊全部の歸還

步兵第五十一聯隊全部は十一月六七兩日釜山に於て乘船を終り是を以て第十三師團は全部韓國を出發歸還せり

●各銀行營業狀況(十月末調)

銀行名	預金現在高	貸出金現在高
漢城銀行	四三二、三六●一三〇	四〇〇、七三六●七二〇
漢湖農工銀行	一〇七、七四一●一〇〇	二二一、五八〇●四一〇
韓一銀行	三六四、二五七●〇五五	三七〇、三三四●七五〇
天一銀行	一二四、六二三●七五〇	三九五、五九九●七二〇
第一銀行	六、〇〇八、九九三●五五〇	一、六八六、一八六●四二〇
五十八銀行	三三一、六六六●六六〇	一、〇六四、三五七●七〇〇
十八銀行	四六〇、一五一●五四〇	四五四、七四二●九二〇
合計	七、七五〇、四五九●七五〇	四、五八三、五六〇●六二〇
前月末比較	五一〇、八四四●四九〇減	三五九、七一〇●三五〇增

●繙譯官補試驗成績

法部にて施行したる繙譯官補採用試驗の成績を聞くに日本人志願者四十九名內八名及第し及第者には夫れ〱通知を發したりと尚韓人志願者は百六名にして約三十名採用の見込なり因みに日本人受驗者の地方より來れる者の中筆記試驗成績の發表を待ち居る者ある由なるも及第の通知なきものは不合格にて何等の通知もなさゞれば歸鄉すべしと

●仁川民團委員會

本日午後一時より仁川民團役所樓上に於て仁川病院刷新に關する委員會を開催する筈

●仁川民會の秘密會

第三回仁川民會秘密會議に於ける希望に基き仁川病院刷新に關する相談委員なる者を置くに決し田中議長は曩に同問題調査委員たりし諸氏を之に指命したり即ち左の如し

加來榮太郎、穎原修一郎、青木一葉、桑野良太郎、慶田利吉、伊東武彥、田中佐七郎

●商業會議所の建議

仁川商業會議所にては昨今新穀出廻期に際し而も韓人の出市少なきは一に斷髮令勵行の結果なりとて地方官憲に於て相當手加減を施されたき旨其筋に建議す可く過日來回文議を以て各役員間に諮りつゝありしが今回全員の贊同を得該建議書を九日附にて信夫理事官の手を經て曾禰副統監に提出せり

●仁川昨今の牛皮界

仁川に於ける牛皮界は今年一月より阪地相場不味の爲め逐月不振の境に陷り一時は二十二圓乃至二十四圓まで下落したるが昨今本邦に於ける各師團がランドセルの製造に着手せるより其需用一時に增加し加ふるに昨今の出廻り物は總て秋皮の上等品のみなるを以て相場稍々昂騰し先月末三十一圓五十錢にまで登りたるが相場尙益々昂騰の氣味にて一昨日の如き同地輸出商は三十二圓五十錢にて手合せをなしたりと而して目下同地の輸出品としては重に取引せらるゝは中物即ち中皮にして昨年末賣行良好なりし小皮は取引更になく從つて値段も中皮より降り居り又支那向大皮も二十九圓五十錢の相場なるも昨今以上二品の取引は皆無也と

●パコタ公園の奏樂廢止

掌禮院に於ては每木曜日パコタ公園に於て宮內府樂隊の音樂を奏し一般の參聽を許し來りしも最早寒冷の季節となり一般參聽者も少なくなりしを以て來週より廢止すと云ふ

●鐵道時間改正實施

十一日より全線の鐵道發着の時間を改正實施すと之と同時に暖爐を用ひ車內を溫むべしと云ふ

●鐵道管理局の移轉

兼ねて龍山停車場側に新築中なりし鐵道管理局廳舍は此程落成せるを以て南大門停車場前なる同局は十月全部の移轉を終り十一月より執務することゝなれり

●小荷物鐵道託送に就て

從來鐵道管理局各驛に託送する小荷物は長十尺又は幅厚四尺若くは重量百五十斤を超過するものは謝絕し居りしも今般取扱方を改正し其制限を廢止し可成託送者の便利を圖ることゝせし由

●能登丸の直航

大阪商船會社の大阪仁川間定期船能登丸は來る十七日神戶に於いて開催せらるゝ觀艦式に使用せらるゝ準備船に命ぜられたるを以て本日仁川を出帆し木浦に寄港したる上神戶に直航する筈なりと

●隅田川丸の破損

大坂商船の仁川大連間航路定期船隅田川丸は數日前仁川を出帆し大連に向ひたるが其の途中暴風雨に出遇し船体に故障を生じ直に修理工事を施さゝれば永く航行し能はざるを以て本日大連を出帆し長崎に直航したりと

●明石少將の歸任

江華島視察中なりし明石憲兵隊長は九日夜歸任せられたるにより同島の狀況を聞くに一時同島內に賊徒蜂起し猖獗を極め侮るべからざる如く新聞紙に報道せられたるが視察の結果に徵すれば右は賊徒の揚言に過ぎずして對岸豐德地方より渡島したる一般普通の草賊にして去月廿九日一同憲兵と衝突し引續き守備隊と掃討をなしたるが其後對岸に逃走したるものゝ如く目下は至つて平穩に歸し何等異狀なしと云ふ尙少將は十日又々開城方面視察の途に就かれたり

●牟田參謀長歸任

牟田參謀長は九日夜八時三十分南大門着歸任せり

●妻木博士の出發

韓國工事顧問妻木工學博士は既報の如く昨九日夜南大門發列車にて歸朝の途に就きたるが李首相宋內相任度相等の代理荒井次官其の他內外人二百余名の見送人ありたり尙同氏は本日馬山浦を視察して直ちに釜山に出で同地を視たる上明日の連絡船にて歸東すべしと

●鶴岡書記官歸任

令妹病氣危篤の報に接し急行東上したる序でを以て各地方の商工業視察中なりし鶴岡農商工部書記官は昨九日夜歸任せり因みに令妹の病氣は全快せりと

●石川副官の出張

軍司令部石川大尉は八日滿期兵及新兵教育係將校、歸還輸送實施の爲め釜山へ出張

●松村氏の慰勞金

此程辭任せる元仁川病院長松村三省氏に對し在職中の功勞を表彰する爲め金一千圓を贈呈す可く一昨日の第三回民會に於て決議したりと云ふ

●漢城病院藥劑員

岩谷曾根次郎氏は醫學得業士にして曾て縣技手として藥劑には經驗を有せるが今回民團の傭聘により同院藥劑部長として着任せり尙氏は水質其他衛生試驗の依賴に應ずべしと

公人私人

▲後藤猛太郎(伯爵)九日入京天眞樓
▲淺沼藤吉(東京淺沼商會)九日入京巴城館
▲有賀光豐(鎭南浦稅關長)九日入京三日月旅館
▲高濱文太郎(統監府營林廠陸軍一等主計)九日新義州へ向け出發
▲上林敬次郎(度支部書記官)九日開城へ向け出發

近事片々

▲濟● 全羅の兩道は亦々暴徒頻に蜂起すとの說あり何とか討滅するの工夫なき乎
▲暴徒● 蜂起以來既に一年有餘尙未だ絕へず邦人の地方居住は何時安全になるべき乎
▲曩者● 全羅北道に於て邦人の慘殺せらるゝもの七名何ぞ夫れ危險千萬早く殲滅せよ
▲偶々● 侍天敎徒の誤殺あれば八釜敷問題となり邦人の慘殺に就て其聲更に反響せず
▲韓內● 地を旅行する故に斯る憂目に遇ふ夫は自業自得のみとは余りに情なき事共也
▲今尙● 暴徒の巨魁所々に出沒して良民を誘惑せりとの說あり速に之を討伐すべき也
▲宋內● 相の地方巡視も暴徒に恐れて沙汰止みとなりしと京童共が謠ふ果して然る乎
▲果し● て暴徒の爲に巡視見合どならば倘更に早く地方の安寧を維持することが肝要
▲暴徒● 以漸次鎭撫云々とは久しく聞く所今に鎭定せざるとは實に困りたる噺なり
▲祖國● に於ける陸軍の大演習にては北軍の司令官は貞愛親王南軍司令官は乃木將軍
▲參謀● 長には南軍は秋山好古北軍は藤井茂太兩人共に今日の若手作戰甚妙ならん
▲今回● 海陸兩軍の演習には外國より特に參列さるゝ軍人多し頻に之れ晴れの場所也
▲大元● 帥陛下も既に鳳輦を西都に移させ給ふ噺や演習地は偉觀頗る振盛なるあらん
▲今や● 祖國中部の氣候は天高く氣清し肥馬嘶き砲聲轟き渡る其雄壯なるや知るべし
▲貞愛● 親王の兵を遣る其指揮異に神の如き者あり乃木將軍に至りては世既に定評有
▲本派● 本願寺法主大谷光瑞伯遁俗して政界に入らるゝの說あり事實ならば甚だ非也
▲法主● なればこそ世間より尊敬を拂はるゝも俗人となり政治家とならば全くゼロ也
▲僧侶● としては多少の識見も備へ居らんが大俗の政界に飛出ては只々擠がるゝのみ
▲ブラ● イアン氏祝電をタフト氏に送る其高量雅懷は眞に敬賞の價あり噫高傑の士也
▲斯な● 高量雅懷ありて始て共和政治は圓滿に行はるゝ也日本の議員等三省して可也
▲夏目● 漱石氏の田山花袋氏に答るの文字は近來面白く讀まれたり夏目氏矢張健在也
▲ルー● ズベルト氏が退職後雜誌記者となることは米國人の尤も誇りとする所なりと
▲ル氏● が記者たるの新生涯に入ることは至く適當也とは國民の輿論なりとの事なり



胸三寸 (三)

女は恰かも荒鷲に掴まれたる小雀の如く、戀て唯ワナ〳〵と慄ひ居るのみなりしが、恐わ〳〵ながら小さき聲にて、

「イ、エ貴郎の御恩は骨身に泌みて忝なく思つて居りますけれど、何うやら斯う今一度京城の叔母に逢つて見たいやうな氣がいたして、ツヒ分別のないことをいたし、何とも申し譯けの道もありませぬ、何うぞ勘忍して……」

と女心の涙と共に申し譯けせしに、男も元より未練のある女のことゝて深くは咎めず、其の夜は已むなく中川旅館に一泊し翌朝再び釜山行きの滊車に打ち乘りて出立せしが、男は内心氣を許さず、途中の驛々に女が用便にて列車を降りる際も心を配り漸てやう〳〵に靜岡には着したり

却說男の住ひといふは靜岡市鷹匠町にて家の稼業は眞面目な稼業にてはなく朝から晩迄二三人のゴロツキ肌の賭博打ちらしき男ゴロ〳〵と遊び居り夜に入ると戸をば嚴重に立て詰め五六人の壯者が車座になりて丁よ半よの賭け事に、女は豫め斯うさ考へを付け男の素性を思ひ浮べて、今更ながら身の因果を喞ちたりしも後の祭り、今は如何ともする能はず、唯朝夕京城の空を眺めては悲嘆の涙に掻き暮れ居るのみなりしが、其中男といふが、土地の遊廓の娼妓に現を拔かし、女のことは更に思はざるのみか、以前とは打つて變つての仕打時には女の返辭が氣に喰はぬとか又は沈んで居るとかを[illegible]に捉へ、手痛な處置を加ふることも屢々なるより、女は終に溜り兼ねイツソの事家を拔け出でんと、思ひ定めしことも一度二度ではなかりしかど義理ある男のことゝてソレさへ出來兼ね、明け暮れ泣きの涙で日を送り居る中、或る日男は毎日の如く酒に醉ふて遊廓より歸り來りしが、醉で女を呼び寄せ女に向つて無理難題を持ち掛けたり

一昨夜の長唄嗜好會

兼て記載せし如く同嗜同好の連中より成る長唄嗜好會は一昨夜午後五時より南山巴城館に於て開催せられたりマヅ開催の定時刻に至るや本社長峰岸氏起つて開會の辭を述べ長唄の沿革より說き起して現今に於ける長唄の狀況を審かに述べ了つて番組に移りしが演臺及び其の他道具立趣向等何れも本式にて素人連の會合とは思はれず且つ唄ひ手の巧妙にして熟練なるは黑人と雖も三舍を避くる程聽くものをして感嘆せしめたり、最初の「吾妻八景」は唄、廣重いし子、木下こく子、廣重あさ子、三味線本森のぶ子、櫻井すへ子、上調子岡安喜美勝等の連中なるが何れも負けず劣らずの出來榮へ糸といひ節回しといひ下方の調子といひ却々に素人の仕草とは思はれざりき、次は「四季の眺」にて歌、大内るん子、三味線和田末子、和田松子の三名なるが之れ又互に喰ひも喰はれもせず悠揚なる聲調の中に能く歌の緩急を補給して無事に遣つて除けしは感心なものなり次は歌、岡田鬼千代、三味線岡安喜美勝、上調子和田末子の顔觸れ番組は「外記猿」にて其の達者なる歌ひ振りは之れ又巧妙なる三味線及び下方と相俟つて些の間然する所なかりきソレより「筑摩川」「賤機帶」「元祿風」「花見踊」「小鍛治」「勸進帳」といふ順序を以て歌ひ終りしが何れも素人連の會合としては[illegible]鮮かな腕前なりき殊に芳村氏の腕前は流石熟達者丈ありて一際出色の觀ありたり斯くて同嗜好者の感興を恣にし散會せしは十一時頃なりし尚同會にては今後會員組織となし毎月一回開催し希望者には何人を問はず稽古を爲し遣るべしとの事殊に來春一月には大に同會の隆盛を圖らん爲め東京より杵屋、芳村、芳住氏等の大家を招き開催すべしといふ次に當夜の傍聽者は二三の次官を始めとして官民の重なるもの其の他歷々たる夫人令孃等なりき

雀百迄雄鳥を忘れず

……齒ッ欠げ婆さんの返り咲き……

さるにてもれさよ婆さんは可愛い男が家をば出され差し當り糊口の資に窮せるを見ては氣の毒に思ひ今迄虎の兒のやうに大事にして置いた大枚三百圓の金をば惜し氣もなく男に與へて炭屋を開かしめたるにそれ[illegible]で男は商賣に有り付き一心不亂に立ち働きし甲斐ありて店も相當に繁昌し貯金も可なりに出來たるより今では婆さん大明神と許りに崇め奉り婆さんの命令とあらば素ツ裸で鯱鉾立ちでも何んでもするはれろか[illegible]びた身体に糊嘲み附きて情死しても夢さら厭ひはしないといふ程有り難がり居りしは よき其の中男の本妻さいふが突然國許より尋ね來りサア今日から久し振りで世帶を持ちませうと迫つたので男は頓と困じ果て折角遙々と朝鮮迄頼つて來た女房を今更ら用がないから歸れと突き返へす譯にも行かず已むなく婆さんに内所で或る所に別居させ置きしが軈て女房さいふが身持ちとなりしより男は又々婆さんの手前何となく氣が濟まずなり獨りで胸を痛め居りし矢先き婆さん何所から嗅ぎ付けたか此の始末を聞き知り或る日男の家に暴れ込んで來て突如男をば引き擲り倒し『爰な薄情野郎が、れ前の女房は私しではないか』と齒ぐきをムキ出して怒鳴り散らすにぞ男も今は閉口し結局女房を國許へ返へすことゝなしたれど女房は却々聞き入れず却つて婆の奴を思ふ存分懲らしてやらんと敦圍き男が何んと言はうが歸國せざるより今度は婆が承知せず私しが立派にれん出して見せると或る時女房の手をば引き捕へ無理無体に表へ突き出せしかば女房は大に立腹し手つ取り早く婆の實家なる新町の某樓に赴きて婆さんの不行跡を一伍一什漆らげ出さんと言ひしより婆さん俄かに怯氣が差しもしも怜れでも此のことが判つたらそれこそ大變な騷動と急に女房に頭を下げそれ丈けは何うか御勘辨をと頼み入り近頃ろに至りては少しも神妙に一室に閉ぢ籠り猫を相手に[illegible]にのみ這入り居るとか（終り）

喜劇石女の出產

……去らるゝが辛さの苦策……

虛僞のやうで事實の面白き話しあり變裔崎[illegible]町[illegible]賀田元春（二十）はクマさいふ女房を迎へ夫婦仲睦まじけれども今に至るまで子寶なきより元春は行末が心細くなり寧ろ今の内にクマを離別して更らに女房を貰らう方がよからんと密かに後妻の候補者を探して居るをクマ早くもそれと察し一時は良人の薄情を怨みたるもいゝこれさ云ふも兩人が間に子なきより起りたる事なれば子が出來たらば離緣するとも云ふまじヨシ一策を施して見んと豫て懇意にせる同市の產婆白江といふを訪ふて事情を明かして助力を乞ひ先づ計畧の一番手として慥かに姙娠したるに相違なしとの診斷書を貰ひ受けてイソ〳〵歸宅し良人元春に向ひて貴郎喜んで下さい妾姙娠しましたよモウ五月ですとさも嬉さうに件の診斷書を出して見せると元春は往來で大金を拾つたほどの喜びにて大事にしろと無暗無性に勞り出し離緣話も果して[illegible]たり然れどクマのこれからの苦心は並大抵の事にあらず產婆の命令なればとてそれよりは一切良人を身邊に寄付ず腹部へ向け布を卷くやら綿を詰めるやら四ヶ月餘りの心勞は譬ふるにものなりしが機密を熟して數日前產婆の白江が元春が出勤の留守を計つて生れたばかりの男の子を密かに他より貰ひ來るゝと同時に急き產婦の用意を整へ[illegible]の子を分娩せし如く裝ふて[illegible]向ふ鉢卷にて[illegible]る處へ夜に入りて良人が歸り來り男の子とて喜ぶども〳〵產婆には禮を云ふクマには出かしたと褒める雀躍して喜ぶを見てはクマも漸やく安堵の胸を撫でたるが差當り困りたるは飲ませる乳にて初產の事とて乳も出ずと目下牛乳を以て養育しつゝありと

▲店員評判記豫告▼

商業界の發展に連れて商店の繁昌を企圖するには主人其の人が敏腕にして且つ信用に富まざるべからざるは勿論のことながら又其の商店に身を委ぬる幹部員たる支配人及び番頭小僧諸君が能く主人の命を奉じ加へて商畧に長けて居らなければならぬ今若し顧客の側からいふときは各商店に於ける幹部員の良不良に依つて其商店の信用如何が果して何うであるかと思ふに至るは是れ至當の道理である此の理から押して世人は京城は勿論龍山仁川及び各地方の商店に於て如何なる人が商務を支配し且つ商務に從事しつゝあるかを尋ねたく思ふは言ふ迄もないことである依つて吾が社は爰に鑑みる所あり近日より之が商店の主人及び支配人番頭小僧諸君の商賣振り及び經歷を記述品評し以つて普く江湖に紹介しやうと思ふ若し萬が一にも此の紹介に依つて商界に稗益する所ありとすれば吾が社の本懷之れに過ぎぬのである

十一月九日　京城新聞社

馬に咬まる

一昨日午後四時頃の事蘇島下村居住李慶學（十八）なるものが草刈りの歸り途馬の手綱を曳きて京部履洞通りにさしかゝるや不圖曳き居る馬が荒れ出して通行人なる履洞馬壽巖（十四）の肩に咬みつき其れと同時に壽巖が持ち居りたる木綿反物を咬みちぎり爰に悶着を始めたりしが結局四十錢の損害賠償にて事濟みたり

辻屋の招宴

辻屋商店主松浦源治氏は新築落成式及開業十五年祝を兼ね一昨夜實業家官公吏新聞記者を招待し自祝の宴を張りたる事は昨紙簡單に記載せし如くなるが果せる哉當夜の來客は何れも官民の歷々たる顔觸にてマヅ最初店主松浦氏の挨拶に次で熊谷民長の來賓側代理の演說ありソレより宴に移りしが花月翡翠の紅裙翠袖の間を周旋し軈て酒三行にして來賓連の隱し藝[illegible]なり歡語笑聲湧くが如き裡に宴を撤せしは午前一時頃なりき

清韓人の喧嘩

一昨日午後八時半頃南部小廣橋清國人魏順和（三五）なる雜貨店へ北部大安洞三十九統金淳培（三三）なるもの非常に酩酊して入り來り毛皮の手袋あるかと尋ねしかば店主は一對の手袋を示し代價二圓四十錢なりと云ひしに傍らに居りたる小僧がソレは二圓だと店主の言葉を打ち消したるより之を聞きたる淳培は同じ品物に二つの値段があるものか此のチャンコロ奴と暴言を吐き果ては定りの喧嘩となりしが結局巡查出張淳培に說諭を加へて立ち歸らしめたり

飲食店でドロボ

慶尙北道開慶郡邑内林在伊（三二）は一昨日午前八時頃壽町三丁目飲食店川所幸太郎方に上りヤレ酒だ肴だと命せしがソレも其の筈心では隙間もあれば何物をか盜まんものをと伺ひ居る矢先き幸ひ棚に五圓五十錢入財布ありたるより早速ソレを竊取し何喰はぬ顏して立歸らんとする所を早くも家人に引き捕へられ南部署へ突き出さる

二人のれ灸

蓬萊町二丁目八番地原田三代吉方雇人鳥取縣平民中田松藏（三二）は九日吉野町で鳥を射んとして發砲し科料五十錢壽町三丁目六十六番地大阪府平民杉林壽之助（三四）は七日午後七時本町總屋商店前にて醉拂ひ近隣の者等を騷がしたる爲め之れ又[illegible]圓の[illegible]に處せられ

種痘

京城[illegible]町にて九日施行せし種痘は百五十名なり

膓窒扶斯

京城花園町一丁目三十一番戶内田榮吉（四十）は六日膓窒扶斯に罹り青坡病院に入る

辻屋の抽籤

辻屋商店にては別項の如く開業十五週年に相當するを以て先般來景品附賣出中なりしが既報の如く昨日同店にて各新聞社員立會の上公平なる抽籤を了す

新發明燃料用　無煙煉炭

●特色　火付善く火力耐久價格低廉
●用途　瀛鑪、暖爐、竈用に適す

周防德山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場

京城特約店
京城南大門通　電話六〇三番
巴商會

韓國一手販賣
京城太平町二丁目
神田組

落語

湯屋番（七）

三遊亭圓遊口演

若「貴樣の坐つてる番臺の役を願ひ度いもんで御座いますなア
亭「番臺は烏渡氣樂の樣に見ねて六ヶ敷いもんです
若「番臺なら何んなに六ヶ敷つても我慢致ます一ツ樂みが有ますから女湯へ女が來ませう
亭「來ますとも澤山
若「着物を脫で御湯へ這入りませう
亭「着物を脫で湯へ這入る奴が有るものか
若「ヘエ宜しう御坐い升夫が樂みなんです
亭「妙な樂みですな……來た奴は番臺から好いと云ふて夕方カッポレを引摺込んで踊らせやアがつてランプを七ツ毀しやアがつて
若「私は然んな事は致しません何卒番臺見習ひを願ひ升
亭「じやア理屈の取極や何かは兄哥が來てからに致しませう此處へ御坐んなさい
若「ヘエ難有う御坐い升此りやア何うも好い心持でグスなア親方御飯を召上つて入つしやい私は御跡で戴き升から鰻屋へ丼を二ツ御誂へ致して
亭「何を云つて居るんです
若「亭主奴女房を取られるのも知らねへで威張いて居やアがる、ヲャ〱男子は大勢居るが女ア一人も來ないねへ男澤山の女少なし……恐ろしい毛の生た尻を突出して手拭を絞つて居やアがる那れが番臺の越後獅子の尻だ何て云ふ尻だい……此りやア御出なさいまし
男「番頭何を獨り言を云つてるだ
若「今日は番頭の開業式でゲス頭へ提灯で點るんでゲスが……大層御頭の毛が延びましたなア御刈致升たら如何で……
男「刈込うと刈込むめへと大きに御世話だ
若「不潔い禪ですなア
男「毆打るョ此ン畜生
若「那んな奴が有るから御上の御世話は絕やアしない數へて遣つて小言を云つて居やアがる……何だらう此電信器機な物は……パチナ腹が空たつて云ふ飯の催促か知らんアー分つたチンと曳くと男湯へ流しが出ると云ふ合圖で二ツ曳くと女湯へ出る印だ一ツ引いて遣（チン〱〱〱）ア、〱兩方へ桶を積上やアがつた桶で流板が一杯に成ちまつた……オイ番頭さん稽古に曳いたんだョ御客が來たんぢやア無いよ……ア、怒つて閉て居やアがる此りやア面白い
男「ヤイ番頭先刻から十錢で釣を呉れと云ふのに聞ねないか
若「何處に釣錢が有るか知れませんア、此處に釣錢の籠が有るからドン〱御持なさい勘定致ないで進る處が氣合もんでげせう
男「成程此りやア强氣なもんだ

抽籤期日變更廣告

曩に弊舖自家製御注文靴二百足を限り六週年紀念景品付賣出し廣告を發表致候處大方各位の多大なる御引立を辱ふして既に定數以上の御申込に相達し弊店の滿足之に過ぎず奉深謝候然るに今回各御得意樣の御勸誘により猶一百足を增加なし都合三百足とし更に特等景品を進呈仕り十二月々末を期し全部納品濟こ致す事に相成候に就ては不得巳景品抽籤の期日を延期し來る四十二年一月五日に變更致候間豫め御承引置き被下度候　敬白

明治四十一年十月

京城本町二丁目（電話三一八番）
萩原製靴店

抽籤期日は十一月三日の處來る四十二年一月五日に改正す
特等景品本田洋服店調製フロックコート一着　價格金七十五圓也
以下景品は從前の通りにて一本も空籤なし

朝鮮名産人參

本品は開城産人參を以て精製したる珍菓にして香氣佳良滋養に富み衞生上好食料品なり品質は黨白品なる故は育兒用として牛乳に勝る數倍如何に月日を經過するも腐敗の憂なく四季の贈答旅行用進物品として好適品なり
本品は韓國至る處の雜貨洋酒罐詰食料品販賣店、菓子舖等にて販賣仕候

小賣定價
大一箱六十錢
中一箱五十錢
小一箱四十錢

コーヒ入角砂糖
ビスケツト罐詰
韓國名産朝鮮飴
外數種類有

洋菓罐詰製造發賣元
京城西大門外獨立門通
吉門商會

▲移轉廣告▼

寒冷の砌各位益々御清榮奉賀候弊店儀從來明治町一丁目に於て營業罷在候處今回業務を擴張し左記へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉希上候

京城南山町二丁目
帝國一　中村支店
主任　下川清太郎

○岡野牧場は京城に於て最良の乳牛を有する事第一位にあり

長命せんとする人は是れを讀まれよ

京城に於て搾取する牛乳屋は岡野牧場なり
牛を以て搾取する牛乳屋は岡野牧場なり
岡野牧場の牛乳は嚴密なる理學的檢査をなし配達す
岡野牧場の牛乳は嶄新完全の瀛熱消毒器を以て消毒したる者なれば風味極めて佳良なり
岡野牧場主は多年牛乳に關する經驗を有し本店は廣島市に於有數の消毒馬車配達牛乳屋なり
岡野牧場は新町裏寶六庵通にあり
岡野牧場は品質の優秀ご親切と叮嚀とを以て本日誕生したるものなり

エーアシヤ種ホルスタン種純粹乳

廣島市觀音村
岡野牧場本店
京城東四軒町
岡野牧場支店

申込所
本町九丁目三番戶　谷岡商店
同　本町三丁目　有田商店

○岡野牧場は衆忠適の韃に有て乳牛飼養に第一位にあり
○岡野牧場は京城に於て無比の勉强力を有する者一軒にあり

十一月三日より
毎日午後時五開幕
伊井薫一座開演
京城歌舞伎座
常盤劇

蒸す壽司御料理
し賣出し
きき燒
明治町一丁目
松善
從前の通り大勉强仕候間賑々數御來光被成下度候

▲轉宅荷物運搬
（京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負）
弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申候而して萬一御委託物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也

京城南大門通り二丁目二十番戶三浦商店向側
店主　有田豐太郎
有田運送店

石炭各種
無煙煉炭
南大門通り
巴商會
電話三〇六番

電話開通　四二七番

板材木商
並に床廻り材料及竹類
京城大和町軍司令部通角
江藤材木店

開業三週年祝賀賣出し廣告

各位益御隆盛之段奉賀候隨て弊店儀當地開店以來三週年の星霜を經日に增繁盛に赴き候段全く御愛顧諸彥の賜と奉拜謝候就ては聊か三週年の祝意を表する爲來る（十一月六日より十日迄）五日間紀念として粗品進呈仕度何卒平素に倍し御來店御愛顧の程偏に奉希候

和洋紙、和洋諸帳簿、人名簿
新版唐紙形、文房具類、活版印刷
折手本、畫帖、其他小間紙類一切

京城本町壹丁目郵便局前
北内商店
（電話近日開通）

同　本町五丁目
同支店
（電話架設中）

貴婦人用さくら紙發賣元

大
命
薫
特約販賣自製

漬物
味噌
醬油
製造元

和洋酒、◎精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

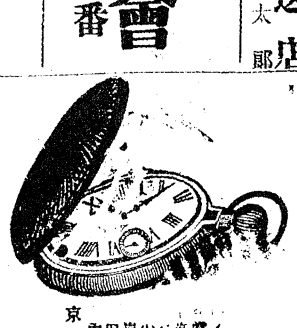
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）

木炭大安賣

今般山元と特約し良炭多數荷着致候に就ては特別の廉價を以て大賣出仕候間多少に拘らず御用命の程奉願上候

京城本町三丁目
硝子商　林豐商店

洋和
暖爐販賣
並に附屬品一式
煙突取付請負
京城本町五丁目一番戶
馬木勇吉
電話四七一番



祝開業三週年

弊店儀開業以來不淺大方諸君の御愛顧を蒙り以御蔭を以て相向ひ候段奉深謝候就ては開店三週年に相當に付今回亞メリケン、タバンス保險附最新式流行形各種入荷致候間御常の御愛顧に酬ゐんが爲め十月二十五日より十一月三十日迄非常なる大安價にて大賣出仕候間賑々敷御來店何卒多少に不拘御用命の程伏て奉願上候
尙餘興として金參圓以上御買求めの諸君には至極面白き嶄新なる機械にて抽籤番號札振出の景品進呈仕候
但時計に限り御買求の上御氣に相不叶候節は向ふ一週間内に現品引替にて代金御返戾可申上候

京城本町四丁目
中村時計商店

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕會
電話三九番

城南大門通
巴商店
電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行
山東丸　十一月廿一日後三時
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸　十一月　日後一時
山東丸　十一月十日前五時
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　十一月十九日後一時
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行
立神丸　十一月十一日
●新潟丸　月日正午　大連行

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄ノ送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金三錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城新聞社
京城西署西小門通